

「#いいね白石」で魅力発信！

「SNSでの共通ハッシュタグ『#』利用」を提案

1月19日、地域活性化の研究に取り組んだ白石高等学校の生徒が、「SNSでの共通ハッシュタグ利用」を山田市長に提案しました。

ハッシュタグ「#」には、SNSを利用する方が興味のあるキーワードを検索する機能だけでなく、共通・類似のハッシュタグが集まっていくことにより、SNSにアップした写真や投稿を通して多くの方がつながっていくという機能があります。また、観光客をはじめ、市民の皆さんや本市に関係のある皆さんが発信することで、シティープロモーションにつながる効果も期待されます。

今回、生徒が提案した共通ハッシュタグは「#いいね白石」。研究に取り組んだ生徒は、「シンプル・使いやすい・ポジティブワードをポイントに100以上の案から選択しました。白石市の魅力発信のため、市内外問わず多くの皆さんに使ってほしいです」と話してくれました。



1_共通ハッシュタグを活用するに至った経緯や効果について説明する生徒

2_生徒の目標は年間3,000件の投稿。目標達成と白石の魅力発信を皆さんで応援しましょう！ #いいね白石

大人としての自覚を胸に

令和3年度白石市成人式「募金の寄付」

1月24日、本年度の成人式で新成人たちが集めた募金の贈呈式を行いました。この募金は「大人になるための自覚として、社会貢献活動をしたい」という新成人自らの意志で行ったもの。集まった募金の19,416円は「高齢者の方が暮らしやすい地域づくりに役立ててもらいたい」と白石市社会福祉協議会へ寄付しました。

成人式実行委員長の木須玲奈さんは「これからは誰かのために役に立てるような人になりたいです」と話してくれました。



▲贈呈式に出席した木須玲奈さん（右）と朝倉秀雄社会福祉協議会長（左）

子どもたちの笑顔のために

白石工業高校生が手作りおもちゃを贈呈

2月8日、白石工業高等学校建築科の生徒が南保育園を訪れ、自分たちが製作したおもちゃを園児たちに贈りました。これは同校3年生が課題研究として取り組んだもので、事前に園からの要望を聞き、生徒たちが約半年間かけて製作。この日は木製のおまごともや木馬などのほか、テーブルをプレゼントしました。製作に取り組んだ生徒は「子どもたちが安全に遊べるように工夫して作りました。喜んでもらえて良かったです」と笑顔で話してくれました。



▲プレゼントされた釣りゲームで遊ぶ園児

大切なおもちゃをいつまでも

おもちゃ病院がやってきました

2月12日、こじゅうろうキッズランドで動かなくなってしまったおもちゃを修理するおもちゃ病院が開催されました。このイベントは、柴田町を拠点にボランティアで活動している「しばたおもちゃ病院」が出張診療するもので、毎月こじゅうろうキッズランドで実施。この日は4人のおもちゃドクターが、テスターなどの機材を使用し、持ち込まれたおもちゃの不具合箇所を探して分解や清掃を行い、修理していました。同病院長の佐藤達也さんは、「壊れたおもちゃを直すことで、子どもたちに喜んでもらえるとうれしいです。この活動を地域に広げていきたい」と話してくれました。

同病院では、活動に賛同してくれるドクターを募集しています。興味がある方はホームページで確認いただくか、しばたおもちゃ病院長佐藤さん（☎070-6492-1785）までご連絡ください。



1_動かなくなったおもちゃが見事に復活！ 大好きなおもちゃが直って大喜び

2_難しい修理はドクターたちが知恵を出し合いながら修復を試みます

安心できる日常を

3回目の新型コロナウイルスワクチン接種

本市の新型コロナウイルスワクチン接種3回目が2月14日よりスタートしました。接種は当面ホワイトキューブでの集団接種で市医師会および仙南薬剤師会白石刈田支部の協力で実施しています。

接種に訪れた方は「インターネットでスムーズに予約ができました。3回目の接種ができて良かった」と話してくれました。ワクチン接種は2回目の接種が早かった高齢者の方から始まり、順次対象年齢を下げて実施していきます。



▲接種会場でワクチン接種を受ける市民